

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和8年 冬 第79号

あかり

A K A R I

災害訓練・BCP訓練実施の報告	1
令和7年静岡市有功者として表彰されました	3
Cアーム更新	4
公園の整備を行いました	4
国立病院総合医学会が開催されました	5
QC活動表彰について	6
外来再診の診療体制医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

災害訓練・BCP訓練実施の報告

理学療法士長 浅野 直也

令和7年12月2日(火曜日)に災害訓練・BCP訓練を実施しましたので報告させていただきます。BCPとはBusiness Continuity Planの略語で事業継続計画という意味を持っています。事業継続計画とは「自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時に



グループワークの様子①



グループワークの様子②

における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画」となっています。簡便に言うと、災害時など緊急事態においても病院の機能を少しでも継続させるという意味になります。

国内・国外において自然災害・人的災害が多く発生しています。静岡県は立地上、東南海地震や富士山の噴火など災害があった場合に被災を受ける可能性のある地域となっています。また、近年では暴風雨により被害を受けている地域が多くあります。当院においても災害に対して、患者を守るため、病院機能を維持するため、周辺住民を守るためにも平時より準備をしなければいけません。災害マニュアルやBCPマニュアルの整備、災害訓練・BCP訓練の実施を繰り返し行うことで災害時に臨機応変な活動を行うことができます。

今回の災害訓練・BCP訓練では本部と各部門(看護師部門2、コメディカル部門1)に分かれて水害被害から災害対策本部を設置し、設置後15分、12時間という想定で本部・各部門において課題や対策などを検討してもらいました。本部・組織体制の確認、連絡体制、患者



グループワークの様子③

の安否確認と生命維持、職員の安否や職員の動き、病院の機能維持、ライフライン(電気、水、ガス)の状況と節約節制、医療資機材(薬剤や食料など)の備蓄体制など多くの課題について熱い議論がされました。今回の議論を基に当院の災害対応をブラッシュアップし安心安定できる病院の管理体制を進めていくことが大切になります。

来年度には今回の研修を基にした実動訓練を行い、全職員が災害対策・災害対応に目を向け、病院の機能維持や患者・職員の安全を保てる体制を確立できるようにしていきたいと考えています。



講義の様子

令和7年静岡市有功者として表彰されました

2025年11月23日、令和7年静岡市有功者として静岡市役所静岡庁舎本館にて、難波喬司静岡市長より表彰状をいただきました。20年以上にわたり、静岡市介護認定審査会委員を務めてまいりましたことが評価されました。

私は2001年9月1日に、旧国立静岡病院と旧静岡東病院の統合にともない発足した、当時の静岡神経医療センターに赴任しております。その後病院名は静岡てんかん・神経医療センターとなりましたが、脳神経内科医として今日まで勤務しております。現在の介護保険制度は、高齢化社会に対応するため、2000年4月1日にスタートしました。私の赴任とほぼ同時期に介護保険制度が出来たのです。

介護保険では、65歳以上で要介護・要支援認定を受けた場合に、原因を問わず介護サービスを利用できます。また、40歳～64歳でも、特定の疾病(がん末期、関節リウマチなど、16種類の特定疾病)が原因で要介護・要支援状態になった場合には、介護サービスを利用できます。

ご自身やご家族に介護が必要になった場合、介護サービスを利用するには要介護・要支援認定を受けることが必要です。介護サービスの利用を希望する方は、市区町村の窓口で「要介護(要支援)認定」の申請をします。市区町村の職員などの認定調査員がご自宅を訪問し、心身の状況について本人やご家族から聞き取りなどの調査を行います。調査の内容は全国共通です。また、市区町村から主治医(かかりつけ医)に直接依頼して、医学的見地から、心身の状況について意見書を作成してもらいます。

認定調査の結果と主治医の意見書をもとに、保険・福祉・医療の学識経験者による「介護認定審査会」で審査し、どの



静岡市功労者・有功者表彰記念
左：小尾智一 右：難波喬司 静岡市長

くらいの介護が必要か判定します。認定結果が通知されますと、要介護1～5と認定された方は、ケアマネジャーに依頼して、利用するサービスを決め、介護サービス計画(ケアプラン)を作成してもらいます。要支援1・2と認定された方は、地域包括支援センターで介護予防サービス計画(介護予防ケアプラン)を作成します。こうして居宅サービスや施設サービスを利用できるようになります。私が、この介護認定審査会委員を休まず続けることができているのは、周囲の皆様のお力とご協力によるのであり、この紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

2023年度末の要介護・要支援の認定者数は約708万人となり、2000年度の認定者数約256万人と比べると約2.8倍増加しています。将来的には、要介護(要支援)認定者数は、2035年までは大きく増加していき、2040年にピークを迎え、988万人となると推計されています。ますます介護保険制度が重要になるところであり、これからもこの制度に貢献できるように精一杯努力してまいります。

今後ともよろしくお願い致します。

副院長 小尾 智一

Cアーム更新

放射線科撮影透視主任
上野 智弘

当院では今回、手術支援の質をさらに高めるために、画像機器を新しく Cios Fit（シオスフィット）へ更新しました。Cios Fit は、手術中に体の内部を鮮明に映し出す医療用エックス線装置で、特に頭部の電極留置のように細かい位置調整が必要な場面で大きな力を発揮します。撮影は低被ばくで痛みもなく、動作音も静かに抑えられているため、落ち着いて治療を受けていただけます。画像をその場で

確認しながら治療を進められるため、安全性と精度が向上します。また、新機種は操作性も向上しており、スタッフ間の連携がさらにスムーズになることで、治療全体の流れもより安定したものになります。今回の更新により、当院ではこれまで以上に安心して任せいただける医療環境を整え、より丁寧で暖かい医療の提供を目指してまいります。



公園の整備を行いました

当院1階の廊下沿いにあります公園では、夏には大量の雑草が生え、毎年大変な手入れが必要でした。砂場は雑草に埋もれてしまい普通の地面との境界がわからなくなっていました。そこで公園内に人工芝を敷き、砂場には木の枠をはめました。これにより除草などの手入れの手間もなくなり、見た目もとてもきれいになりました！

これからも当院で治療を受ける患者さんや家族の憩いの場として、気軽にご利用いただけましたら幸いです。

（庶務係長 宮本 将志）



整備前の公園



整備作業中の公園



整備後の公園

国立病院総合医学会が開催されました

第79回国立病院総合医学会が金沢にて開催されました。当院からも多くの職員が参加し、日頃の成果などを発表しました。

発表形式	演題名	演者	所属
QC活動 グループ最優秀賞	着替えはお風呂場で	(チーム名) ばすぼむ	看護部
シンポジウム	当院の保育士の役割と支援の在り方	高橋 輝	療育指導室
シンポジウム	NHOの保育士が求められる姿勢と期待される支援とは	島田 明義	療育指導室
ポスター	当院における抗Aβ抗体薬投与体制の構築と実践	小尾 智一	脳神経内科
ポスター	重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症の乳幼児への関わり～太鼓とスヌーズレン器具を組み合わせた遊びを行った3例～	高橋 輝	療育指導室
ポスター	人工呼吸器装着中の乳幼児に対する療育の実践について	石川 知佳	療育指導室
ポスター	人工呼吸器管理下にある高度胸郭変形を伴う重症心身障がい者に対してクリアウェイ2MI-Eによる無気肺治療が有効であった一症例	鈴木 一彦	リハビリテーション科
ポスター	心肺運動負荷試験中に過換気症状を伴うてんかん発作を生じたことで、特異的な換気応答を示した難治性てんかん症例	大森 桜道	リハビリテーション科
ポスター	てんかん疾患患者の運動機能における特徴	浅野 直也	リハビリテーション科
ポスター	流延コントロールに向けた口輪筋刺激アプローチの効果	藤田 理子	看護部
ポスター	重症心身障害児(者)病棟で医療的ケア児を安全に受け入れるための取り組み報告	石橋 綾子	看護部
ポスター	ケトン食療法実施患者の栄養スクリーニングの検討	丹野 由梨	栄養管理室
ポスター	アルツハイマー病に対するレカネマブ投与半年の効果：MMSEおよびCDRスコアの変化と心理面談での特徴	笠井 良修	心理発達支援室
ポスター	小児におけるChang法が脳血流分布にあたる影響の検討	上野 智弘	放射線科

QC活動表彰について

A2病棟
山田 久美子・石垣 亮子



病棟スタッフ集合写真



QC活動チームメンバー

この度、11月7日、第79回国立病院総合医学会(石川県金沢市開催)においてQC東海北陸グループ最優秀賞という大変栄誉ある賞を頂き、ANAクラウンホテ

ル金沢でQC取組事例発表、ホテル日航金沢「鶴の間」とてもきらびやかなホールで全員交流会、表彰式に招待させていただきました。映画「国宝」を思い出すような舞台での演舞、理事長より表彰、一緒に写真撮影、交流会での能登牛のステーキ、のどぐろ、蟹のお寿司など豪華な食事に驚くことばかりでした。残念ながら全国最優秀賞にはなれませんでした。他病院のQC活動報告にも触れることができました。パート夜勤専従離職者の軽減を図る、外来の待ち時間の短縮、会議などのペーパーレス化など病院の収益に直結し、1億の収益を上げたなどとてもすごい発表ばかりでした。他病院の発表を聞き、発表スキルのすごさにも圧倒されました。とても良い経験をさせていただいたと思っています。

私たちの活動報告は、「ストレッチャー入浴で患者様のプライバシーが守られていない」をテーマにし、「着替えはお風呂場で」を目標に掲げました。資源も乏しく、今あるもので最大限の効果を得たい。患者様の利益、プライバシーだけでなく看護師側も利益があれば継続できるのではないかと考え、スタッフ全員の協力もあり、1年経過した現在も継続することができています。患者様にとっても看護師にとっても今の方がよいという意見が多く聞かれています。QC手法を使用したからこそ問題が明確になり成果をあげることができました。

今回の活動は病棟スタッフの思い、協力があったからこそ達成できました。患者様に寄り添いたいと願う看護師だからできたのだと思います。これからも自分だったらどうしてほしいかを常に考え、訴えることが難しい神経難病患者様の代弁者となっていきたいと思っています。

最後になりましたが、協力していただいたスタッフ、関係者の方々に御礼申し上げます。



国立病院総合医学会表彰式にて

診 療 体 制

てんかん科		午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30									
診察室	曜日	初 診					再 診				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室								山崎悦	川口	山崎悦 (AM)	白井
第2診察室							徳本				
第3診察室	大谷英之				白井直敬			西田		西田 (AM)	
第4診察室			露崎悠						日吉	宮下	川口 (AM)
第5診察室								水谷	平松		小川
第6診察室					松平敬史		芳村		松平	芳村	
第7診察室				山口解冬							山口
第8診察室			今井克美		今井克美	今井克美	今井		高橋		
第9診察室			川口典彦	山崎悦子			重松			大谷	大谷
第12診察室	西田拓司			西田拓司							

脳神経内科		初診				
診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	小尾	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾智一	小尾智一	小尾智一		小尾智一
第11診察室	午前	杉浦 <small>初診+再診</small>	杉浦	高嶋		寺田
	午後	杉浦明 <small>初診+再診</small>	中川裕亮	高嶋浩嗣 <small>初診+再診</small>		尾内 <small>第4週</small>
第4診察室	午前	中川				
第5診察室	午前	寺田達弘 <small>初診+再診</small>				

特殊外来		
認知症疾患医療センター	月・水	小尾智一
睡眠覚醒外来	第3 または 第4金	小栗卓也

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■
西田 拓司 藤田 陽子 石橋 綾子
内野 達宏 佐倉 裕二 上野 智弘
堀 友輔 高橋 輝 鈴木 一彦
宮本 将志

発行 ■ 令和8年1月30日
国立病院機構
静岡てんかん・神経医療センター
〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446
F A X ■ 054-247-9781
U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>
E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

紹介状がない場合については、令和6年5月31日までは2,750円、令和6年6月1日からは7,700円の別途費用がかかりますのでご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

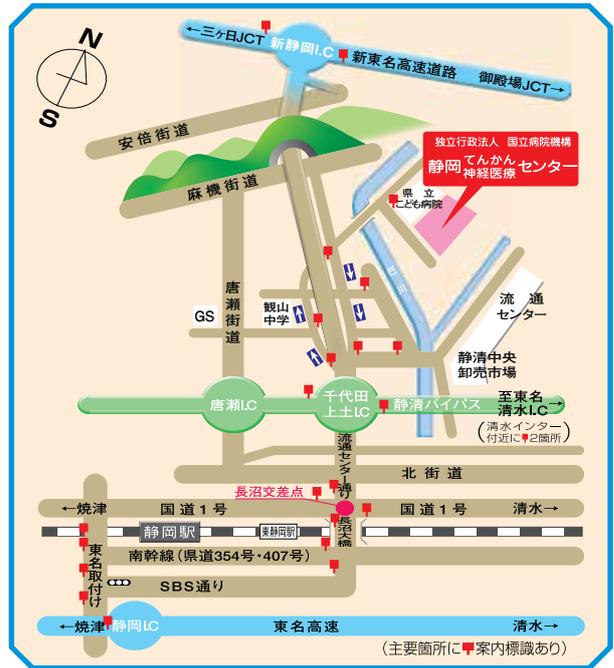
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人450円、小児230円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,800円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

●エキスパートが語る てんかん診療実践ガイド

【日本医事新報社、2022年7月】

静岡てんかん・神経医療センターの専門医が中心となり、てんかんの診断・分類から薬物治療、社会生活のアドバイスまでを体系的に解説。
・てんかん発作と間違いやすい症状・疾患との鑑別を丁寧に取り上げ、誤診を防ぐための知識をふんだんに紹介。
・薬物治療についても、併存症や副作用、減薬など、判断に迷うことの多い疑問にやさしく回答しました。

●新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

●プライマリ・ケアのための 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。
2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)